

原田治 展

「かわいい」の発見

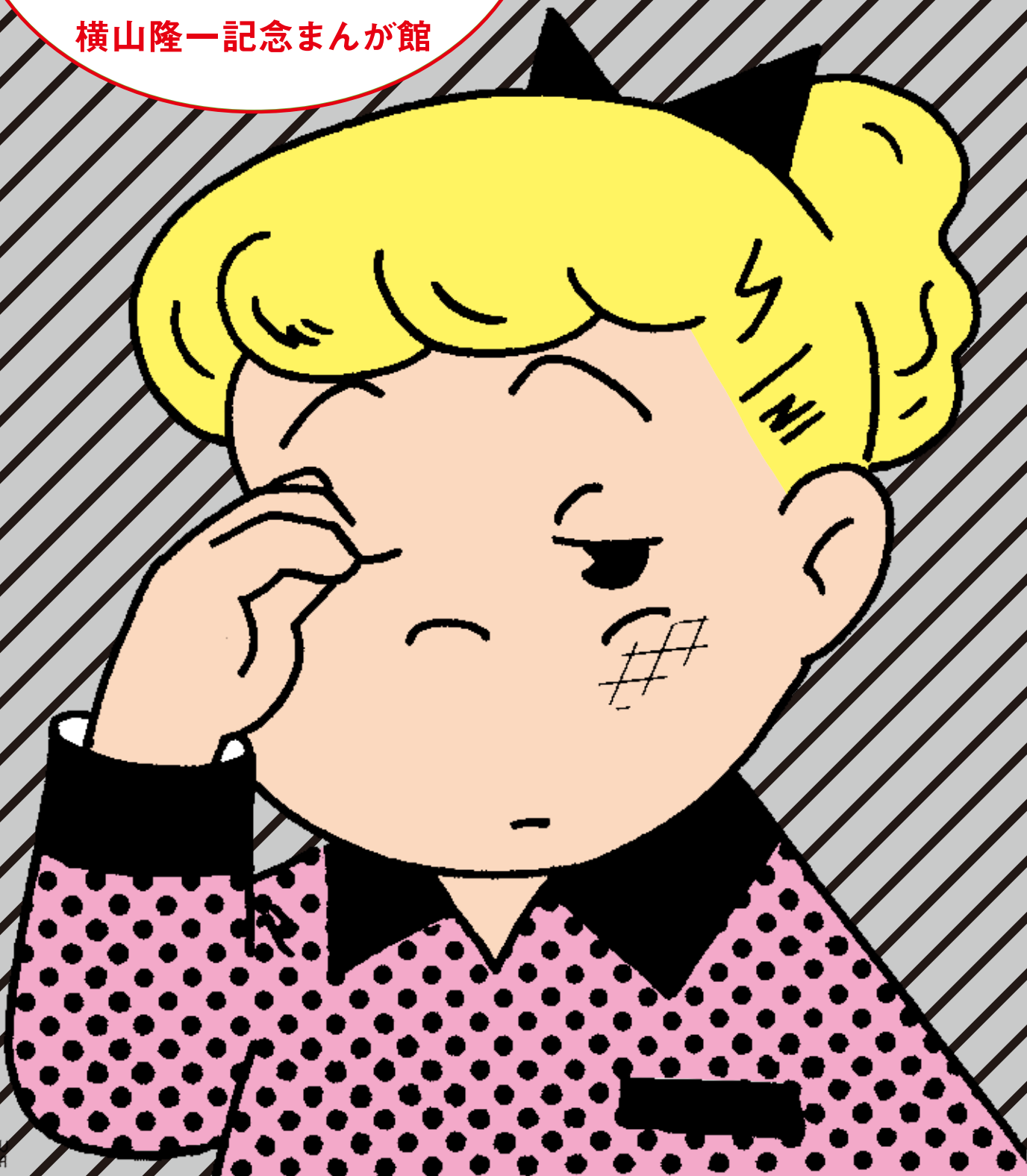
Osamu Harada: Finding "KAWAII"

2022 1/15(土) - 3/6(日)

9:00-18:00 (入場の受付は17:30まで)

※毎週月曜日は休館

横山隆一記念まんが館



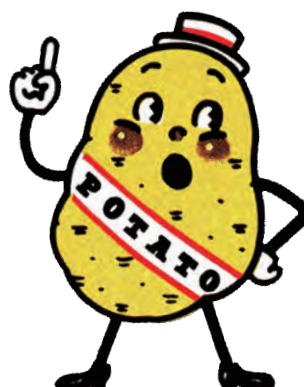
入場料 一般1,000円、大学・専門学校800円、中・高校生600円、小学生以下300円 ※3歳未満は無料 ※65歳以上の方、及び身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦疾病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)は、割引料金(半額)でご覧いただけます。※横山隆一記念まんが館常設展示を特別割引(一般200円)にてご覧いただけます。主催:公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館、KUTVテレビ高知 後援:高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、エフエム高知、KCB高知ケーブルテレビ、(公財)高知勤労者福祉サービスセンター 協力:コージー本舗、トムズボックス、パレットクラブ 企画制作:コスモマーチャンダイズィング 会場設計:五十嵐瑠衣 アートディレクション:服部一成 横山隆一記念まんが館 高知市九反田2-1(高知市文化プラザかるぼーと内) TEL:088-883-5029 ホームページ: <http://www.kfca.jp/mangan/>



スクールバッグ (OSAMU GOODS®)
1992年
©Osamu Harada / Koji Honpo



ショップバッグvol.47 (OSAMU GOODS®)
1989年
©Osamu Harada / Koji Honpo



カルビー「ポテトチップス」など
マスコットキャラクター
1976年 作：原田治



ミスタードーナツ
キャンペーン用キャラクター
1986年



HUMPTY DUMPTY
(OSAMU GOODS用原画)
1970年代後半～1980年代前半



『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』
作品集
1981年 PARCO出版



浅田彰「逃走論」
1984年 筑摩書房
装幀：原田治



「an・an」第47号 1972年 平凡出版
アートディレクション：堀内誠一
表紙イラストレーション：原田治

OSAMU GOODSよ永遠に

1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS (オサムグッズ)」の生みの親、原田治(1946-2016)。

50-60年代のアメリカのコミックやTVアニメ、ポップアートなどから影響を受けたイラストレーション——とりわけ、簡潔な描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、その後の日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えました。

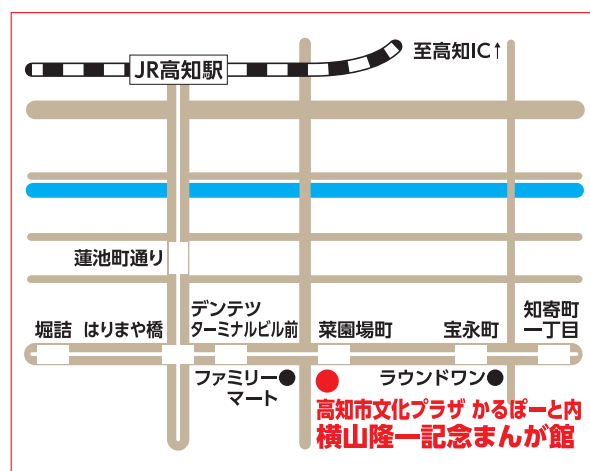
没後初の全国巡回展のひとつである本展では、イラストレーターとして活動するきっかけとなった、1970年代、雑誌「an・an」の仕事をはじめとして、広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる作品を中心に、幼少期～20代前半の初期資料や、エッセイ集『ぼくの美術帖』関連資料も展示し、時代を超えて愛される、原田治の全貌に迫ります。



原田治(1946-2016) 東京生まれ。多摩美術大学デザイン科卒業。1970年、当時創刊された「an・an」でイラストレーターとしてデビュー。1976年、「マザー・グース」を題材にしたオリジナルのキャラクターグッズ、「OSAMU GOODS」の制作を開始、女子中高生の間で大人気となる。1984年、ミスタードーナツのプレミアム(景品)にイラストを提供、以降シリーズ化され一世を風靡する。1997年、イラストレーターを養成する「パレットクラブスクール」を、生まれ育った築地に開設。主な著書に『ぼくの美術帖』他。

グッズショップでは新商品や復刻商品など、多彩なOSAMU GOODSを販売します。
※入場には原田治展の入場券が必要です。

新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いしております。
ご来館前に、最新情報や詳細をホームページにてご確認ください。



アクセス

- 【バス】とさでん交通「八幡通」下車徒歩1分
- 【電車】とさでん交通路面電車「はりまや橋」下車 徒歩5分 または「菜園場町」下車 徒歩3分
- 【車】「高知駅」より5分、「高知IC」より10分、「高知龍馬空港」より20分 ※駐車場200台(30分毎に150円)
- 【連絡バス】「高知龍馬空港」より20分「はりまや橋観光バスターミナル」下車徒歩1分(740円)